

留学体験レポート

国際学部 2年 藤塚真生人

1. はじめに

私は異文化理解、語学力向上、コミュニケーション能力の向上などを目標として8月から12月まで約4か月の留学体験をした。その中で私が体験してきたことなどを紹介していきたいと思う。

2. アメリカでの生活

私たちは男子と女子とで寮が分けられ、二人一部屋という形で生活していた。ベッドシーツや毛布、枕は初日に先生方が運んできてくれた。私が住んでいた寮にはエレベーターが無かったため、スーツケースを運ぶのに少し苦勞した。9月頃には希望すれば寮や部屋を変更することも可能である。その時に隣に引っ越してきた人たちが夜や休日の昼間に大きな音（音楽や話し声など）をよく出しており、とても迷惑した。こちらから音楽を止めるように声掛けをした。その後で先生に相談したが、解決することはないと帰国する日まで我慢した。大学で使えるWi-Fiは微弱に感じ、接続が切れることが多かった。食事は基本的に食堂だが、ほとんどメニューが変わらないので飽きに来るのは早かった。土日の朝ごはんはメニューが少ないため、私はよくスターバックスでパンを食べていた。私はコミュニケーション能力が低いのでパーティーなどに参加するとき一人になってしまうことが多かった。

3. 授業について

大学についた次の日にクラス分けのテストが行われる。私は前日に時差ボケでよく眠れなかったため、何度かテスト中に眠くなってしまうようなことが多かった。授業の最初の方は先生の言っていることが聞き取れず、苦勞することもあったが、授業にしっかりと参加していれば耳が慣れていくためリスニング力の向上は実感しやすい。また、発音の授業ではRを発音する際の下使い方について何度も指摘された。コミュニケーションスキルの授業ではディスカッションなどもあり、自分の意見を出すのが苦手な私としてはいい経験になったと考える。積極性が求められることが多かったことを感じた。

4. 課外活動について

先生に車に乗せてもらいカンザスシティへ行く機会があった。ゲームセンター、美術館、ショッピングプラザなどに行った。パーティーなどもしばしば開催され、ハロウィンパーティーやサンクスギビングパーティーなどに私は参加した。特に印象に残

っているものは大学内にある劇場で観劇したミュージカルだ。歌声の響きやダンスの動き、派手な演出も見ていてとても楽しかった。

5. おわりに

私はこの4か月の留学経験を通して様々な貴重な経験をする事ができたと思う。留学を許可してくれた両親に感謝し、これからもこの経験を生かして自らを向上させていけたらと考えている。